

Star-Cast Mounting System & MTH909 Double Tom Holder

Instruction Manual

この度は、Starclassic シリーズのドラム、並びにダブルタムホルダー MTH909 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。製品の機能を十分に発揮してご使用頂く為に、本取扱説明書をご使用前に必ずお読み下さい。また本書は大切に保管して下さい。

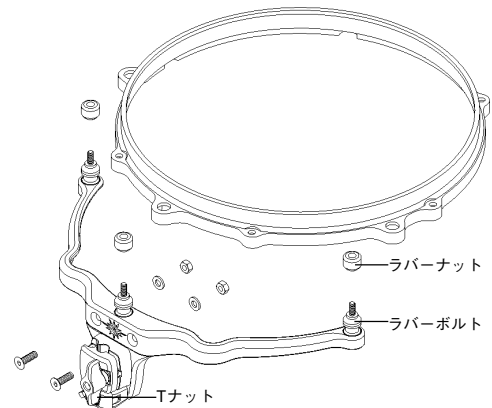
Star-Cast Mounting System

組み立て方法

1. アーム部とブラケット部を、六角穴付きボルト2箇所固定します。付属のLレンチでしっかりと固定して下さい。アーム部内側には、ドラムの口径サイズ（インチ）が記されていますので、あらかじめご確認の上、取り付けて下さい。
2. ラバーボルトと Star-Cast 本体を固定しているナットが緩んでいる場合は、Star-Cast をドラムへセットする前に、付属の眼鏡レンチで増し締めして下さい。
3. ラバーボルトに取り付けられているラバーナットを指で外し、打面側ダイキャストフープの3箇所の穴に3本のラバーボルトが通るようにセットし、ラバーナットで固定して下さい。この時ラバーナットはUPと書かれている側が上になるように取り付けて下さい。
4. メモリーロックは、あらかじめブラケット部に仮固定されています。ご使用の際は、ブラケットのTナットを緩め、メモリーロックを取り外し、オムニボールロッドに固定して使用します。

メンテナンス

アーム部とブラケット部を固定している六角穴付きボルトが、演奏や移動の際の振動で緩む可能性があります。付属のLレンチで時々増し締めして下さい。またラバーボルトと本体を固定しているナットが緩む可能性もありますので、緩んだ場合は付属の眼鏡レンチで増し締めして下さい。

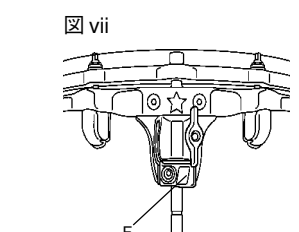
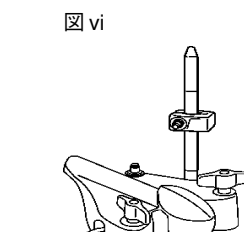
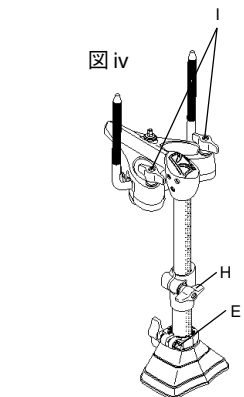
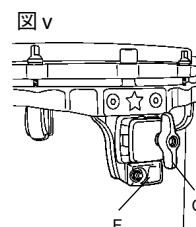
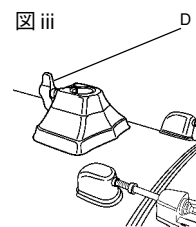
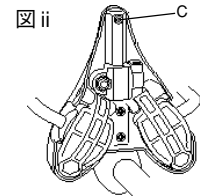
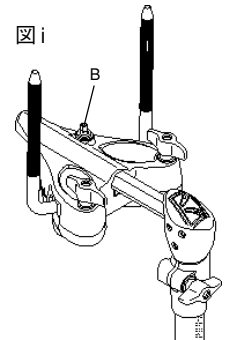
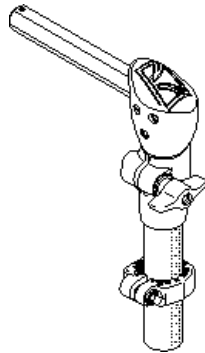
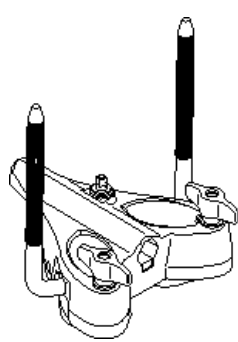


MTH909 Double Tom Holder

梱包内容

ダブルタムホルダー MTH909 は以下3つのパーツに分かれて梱包されています。

- ① ダブルタムホルダー本体（オムニボールロッド部） ② 高さ調整部（パイプ部） ③ 脱落防止ボルトA



組み立て方法

1. ②の高さ調整部の六角ロッドを、①のダブルタムホルダー本体に挿入します(図i)。角頭ナットBをドラムキーで緩め、②の六角ロッドを本体①の一番奥まで挿入し、角頭ナットBを締めて固定して下さい。
2. 挿入後、②の六角ロッド先端部Cに、③の脱落防止ボルトAを取り付けて(図ii)、付属の六角レンチでしっかりと固定して下さい。脱落防止ボルトAは、タムホルダーの前後の位置を調整する際、本体がタムホルダーから抜け落ちる事を防止するためのボルトです。必ずご使用前に装着し、しっかりと固定して下さい。また毎回ご使用になる前に、しっかりと固定されているか必ずご確認下さい。

使用方法

1. タムホルダーベースマウントのTボルトD (図iii) を緩め、ダブルタムホルダーを挿入し固定します。この時あらかじめメモリーロックの角頭ボルトE (図iv) も緩めておいて下さい。
2. Star-Cast にあらかじめ取り付けられている割式メモリーロックF (図v) を取り外し、オムニボールロッドに取り付け、(図vi) の向きになるように挿入します。この時点ではまだメモリーロックは固定せず、緩んだ状態でセットして下さい。
3. より深いサイズのタムタムを先にオムニボールロッドに取り付け、タムブラケット部のTナットG (図v) を締めて固定します。この時タムタムは図viiのように、オムニボールロッドの比較的高い位置に、オムニボールロッドとほぼ垂直になる様にセットすると、最終的な微調整がスムーズに行えます。
4. タムタムの高さを調整します。タムタムを片手でホールドしながら、高さ調整パイプ②のダイキャストジョイント部のTナットH (図iv) を緩め、タムタムの高さを調整し、適当な位置でTナットHをしっかりと締めて固定して下さい。
5. 3.4の手順で、小さい方のタムタムもセットします。
6. TナットI (図vi) でタムタムのアングルを調整します。タムタムを片手でホールドしながら、TナットIを緩め、適当なアングルにセットした後、TナットIをしっかりと締めて固定して下さい。
7. 2つのタムタムの前後の位置を最大50mm (約2インチ) 無段階に調整できます。ダブルタムホルダーの角頭ナットB (図i) をドラムキーで緩め、タムタムを両手でホールドしながら、タムタムの前後の位置を調整し、適当な位置で角頭ナットBをしっかりと固定して下さい。
8. 必要に応じて、タムタムの高さの微調整を行います。タムブラケットのTナット部G (図v) でそれぞれのタムタムの高さの微調整が可能です。
9. セットアップが完了したら、2でオムニボールロッドに取り付けたメモリーロックFをブラケットと噛み合うようにセット(図vii)し、ドラムキーでしっかりと固定します。また②の下段パイプのメモリーロックも、ドラムキーで角頭ボルトE (図iv) をしっかりと締めて固定して下さい。
10. 全てのボルト&ナットをしっかりと締めて下さい。
11. 使用後は、タムタムをタムホルダーから取り外した後、タムホルダーベースマウントのTボルトD (図iii) を緩めてバスドラムから外します。次回セットアップの際は、タムホルダーをタムホルダーベースマウントに装着するだけで、同じアングルにタムタムをセットできます。